

■ tPod ~ folksonomy により効率と利便性の高い検索を提供 ~

巨大掲示板や blog、wiki などの流行もあいまって web における情報の増加はとどまるところを知りません。加えて検索エンジンの性能向上により、手軽に沢山の情報が得られるようになりました。しかしその反面、膨大な量の検索結果から本当に必要となる情報を抽出し管理するために、多くの時間が費やされています。

検索精度の向上や情報管理をより容易にすることで、知的活動の生産性向上、ナレッジシェアの効率向上を図ることができると考えられますが、このためには新たな検索・管理手法と、その実現のための検索エンジンが必要となります。

■ ユーザ視点の検索

新たな検索・管理の基本コンセプトは、従来の全文検索に加えユーザ視点で付加されたメタ情報（キーワードやコメント）を基にして検索・管理を行う、というものです。

昨今では SBM(Social BookMark)など、利用者が設定したタグやキーワードを基にした分類「folksonomy」(*)が流行してきており、ここで紹介する検索エンジン「tPod」もこの考えに基づいて作られています。

(folksonomy とは、folks (人々) + taxonomy (分類学) という二つの言葉を組み合わせた造語で「人々による分類」というような意味を持ちます)



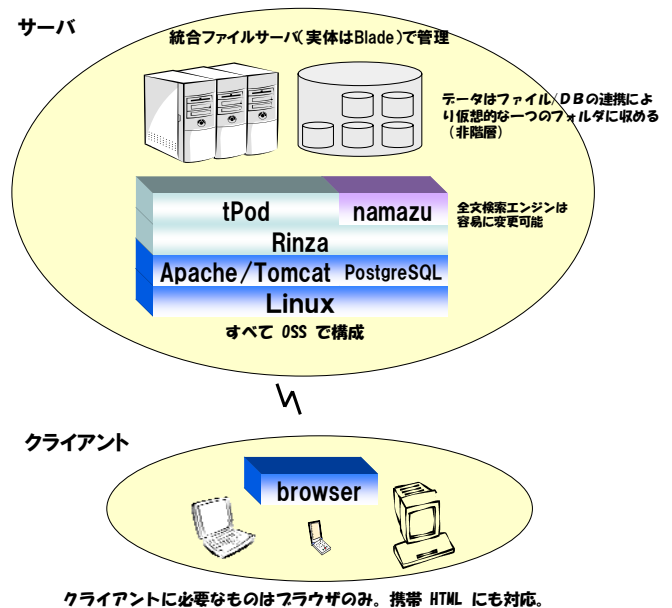
tPod では、利用者が任意のメタ情報（キーワードやコメントなど）を付加しカテゴリ化を行うことができます。これにより利用者は自然な語句と利用者視点で紐付けられたキーワードを元に情報を探し出すことができます。

■ サーバによる集中管理

tPod は検索エンジンだけではなくファイルサーバの機能ももちます。

情報を一つの壺 (pod = サーバ) に集約して一元管理を行うことで、セキュリティを高め、管理の負荷を軽減することが可能となります。

また、クライアント PC から個別管理のファイルが削減され、情報の検索性が高まるとともに再利用（利活用の促進）も容易になります。



■ 非階層で情報を格納

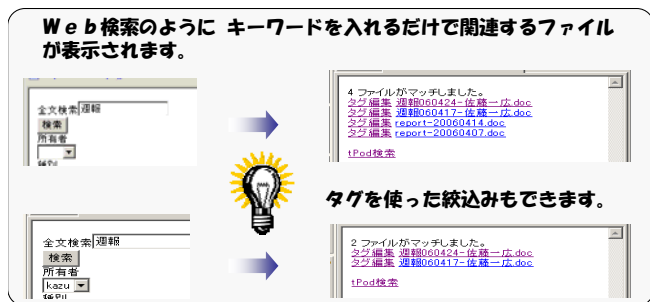
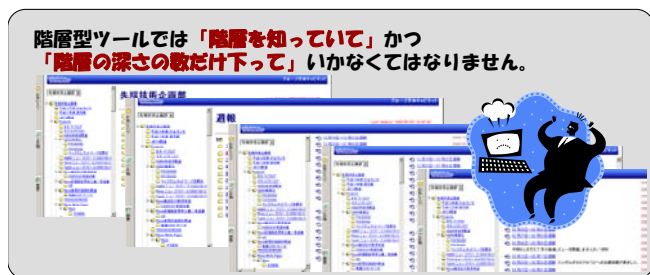
tPod では管理する情報（ファイル等）を非階層で管理します。

階層管理では情報の整理はある程度行えるのですが、利用者視点で考えると、「階層構造を理解しており、どこに何があるかを把握している必要がある」

「情報にアクセスするためには階層を手繰る必要がある」「複数の親に属する情報が表現しづらい」「階層の変更が困難」など、いくつかの問題があります。

tPod では「カテゴライズはキーワードで行う」「情報入手時には検索エンジンを用いる」という考えのもと情報はすべて非階層で管理しています。

ユーザは情報を入力する際に「どこに何があるか」を意識する必要がありません。



■ 連絡先

<http://www.tyzoh.jp/> adtech-box@unisys.co.jp

日本ユニシス株式会社 先端技術部

〒135-8560 東京都江東区豊洲 1-1-1

TEL 0120-023-051

■ OSSでリーズナブル

Open Source Software ですから利用に際しソフトウェア購入費やライセンス料はかかりません。保守の面でも Tomcat / PostgreSQL などコミュニティが充実していて実績のある OSS で構成されていますので安心です。万が一不具合が生じてもソースコードが公開されていますので迅速な対応が可能です。

■ tPodの狙い

私たちは、次世代の検索手法とそのエンジンをナレッジシェアのための基盤（インフラ）として提供し、利用者の知的活動支援の効率改善と活性化を図りたいと考えています。